

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (四国)		家電量販店（副店長）	来客数の動き	・消費税増税に伴う特需が徐々に出てきている。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・来店客に占める目的買いの客の比率が高かった。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・客単価が前年比で5ポイント増加している。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・今は夏場だが、それでも割と単価の高い衣料品が売れていく。10月の消費税増税を見越しての駆け込みというほどではないが、その影響もあって今は少し売上が良い。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・例年、お盆休み、夏休みがあるため、6～7月は悪く8月は非常に良い傾向がある。今年は余り期待できなかったが、過去の6～7月から見て、8月は良くなった。地域の温泉本館が工事中であるが、それがマイナスにならないように、行政が上手に対処している。また、本格的な営業活動を行い、来客誘致の努力をしている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・2～3か月前と比べると、少し良くなっている。夏休み、お盆休み、当地の祭り等があったため、10%位良くなったが、お盆を過ぎてからは実車率が悪い。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・ここ数年はお盆の時期でも客が余り動かないことが多かったが今年はかなり動きがよかった。台風の影響もあり、県外の客が思った以上に来店したことが大きい。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・8月の当地の祭り期間も天候にも恵まれたため、かなりの人出があった。観光客がかなり入ってきている。その後も、夏休みや土日を中心に観光客が商店街に入っている。県内客もかなり多い状態が続いている。
		商店街（事務局長）	来客数の動き	・街は多くの人通りでにぎわい、活気があるものの財布のひもは固く、消費はさえない様子である。消費税増税前の駆け込み需要も一部の高級品や大型家電にとどまる。伸び続けていたインバウンド需要も韓国からの観光客減少や、このところの円高による商品の割高感もあり、停滞気味である。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・今夏の前半は冷夏で、8月の県下最大のお祭りも4日のうち2日間が台風で中止となった。そのため、書き入れ時の夏に売上が伸びなかった。
		百貨店（企画担当）	お客様の様子	・台風で1日閉店したことによる被害については、何とかカバーできた。
		百貨店（販売促進）	来客数の動き	・消費税増税前の駆け込み需要は身の回りの品にはまだ見受けられない。直前の9月にはある程度のまとめ買いが見込まれるが、5%から8%へ引上げられた2014年ほどのインパクトはないのではないか。
		スーパー（企画担当）	お客様の様子	・8月上旬は想定したほど客足が伸びず、売上を伸ばすことができなかった。競合との買い回りが更に激しくなっている。お盆期間の台風によって極端に客足を落とし、台風前後をまとめても前年よりかなり来客数が減少した。お盆明けの天候不順もあり、来客数の伸びは鈍く売上は望めなかった。
		衣料品専門店（営業責任者）	販売量の動き	・前年に比べ3%程度のマイナスで推移している。客の買上点数の減少が売上の減少につながっている。必要以上に商品を購入することを控える姿勢が続いている。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売台数も伸びず目標に全く届かない。	
	乗用車販売店（役員）	来客数の動き	・過去と比べ、目立つような消費税増税前の動きがみられない。このまま何事もなかったかのように消費税の引上げを通過できれば良いが、予測が付きにくい状況にある。	
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・お盆の時期に台風が来たため、帰省客並びに観光客が一気に水を差された。ただ、夏休みということで、それなりの客数は確保できている。	

	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・夏の受注ピークにもかかわらず、販売が伸び悩んでいる。
	通信会社（営業部長）	販売量の動き	・前年の販売量と比較して、7～8割の水準が続いている。
	通信会社（技術）	販売量の動き	・新規加入数が増加しているサービスもあるが、解約数も増加傾向にあるため、どちらともいえない。
	競輪競馬（マネージャー）	お客様の様子	・毎日の両替資金や運営資金の額が同額水準で推移しており、営業中の追加資金もほとんど必要としないため横ばいで推移している。
	設計事務所（所長）	お客様の様子	・中心部で、古い建物の解体工事が多くなっている。今後、建て替えがあるだろう。
	商店街（代表者）	それ以外	・世界中のファンダメンタルズが悪化傾向にあり、自国第一主義の風潮が納まらなければ経済環境は負のスパイラルに陥っていく。その中で日本は人口の減少、高齢化の加速等があり、ポジティブな要素が全く見当たらない。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・前年比の来客数は、3か月前よりマイナス幅が増加しており景気がやや悪くなっている。消費税増税を控えている事や将来の年金問題等の不安材料が多く、客の消費傾向が厳しくなっている。
	一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・お盆休みの10連休中は来客も多く、観光客などで人通りが多かった。しかし、年々、町を挙げて行う踊りパレードのにぎわいが減っていった。お盆休み明けは、今までにないほど来客数が減った。
	百貨店（営業管理担当）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要が想定を下回っており、高額品や衣料品が伸び悩んでいる。また来客数についても、夏休み企画や芸術祭との連動企画などを実施し来客数増加を図ったが、天候条件も影響し前年を下回って推移している。
	スーパー（財務担当）	来客数の動き	・お盆の台風の影響が大きい。
	コンビニ（総務）	来客数の動き	・気温や天候に大きく左右されるが、8月は来客数が大きく前年割れし、売上も前年割れしている。消費税増税を目前に控えて消費の冷え込みが始まっている。
	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・8月に関しては、猛暑、雨や台風、曇天など天候が目まぐるしく変化した。バーゲンセールが少し遅れたせいもあるが、7～8月は厳しい状態になっている。
	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	来客数の動き	・台風の影響により、当地の祭りが4日のうち2日間中止となり、大きく減収となった。前年の祭りの運営をめぐる騒動で来客数も減少しており、今年こそはと期待していただけに残念であった。
	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・夏休みやお盆休み等があり、財布のひもが緩くなるかと期待したが、期待するほどではなかった。
	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・夏休み、お盆シーズンの台風、猛暑等の天候の影響もあり、客の動きが鈍く来客数は減少傾向にある。
	× 一般小売店〔乾物〕（店員）	販売量の動き	・当地の祭りが中止になって、近年になく売上が悪い。
	× スーパー（店長）	販売量の動き	・今年の夏は雨が多く、季節商材の売上が一層低迷した。
	× コンビニ（店長）	来客数の動き	・お盆の台風の影響で来客数が一気に悪化した。相変わらず前年割れである。台風の影響か、購買意欲の低下か、競合激化の影響か、どれをとっても当てはまる状況である。
	× 乗用車販売業（営業担当）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込みも終わり販売量が落ち込んでいる。
	× 乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・今注文をしても納期が10月以降となる車種が増えたため、受注台数が減少している。
企業 動向 関連 (四国)		-	-
		*	*
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月は例年どおり暑さも戻り、前年並みであるが、小売店の店頭販売は厳しい状況が続いている。相変わらずインバウンド効果のある地区は順調であるが、全国的には限られており、多数の地域では人口減少、地域経済の低迷、価格競争激化などマイナス要因により、廃業なども散見される。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・メディカル用品が中国や台湾で受注が決まってきたことと、業務用関係が少しずつ増加してきているので、少しは良くなっていく。

	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・需要傾向に大きな変化はない。
	電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・3か月前から現在まで、おおむね同程度の出荷量で推移している。なお、製品価格も特段の変動は見られない。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・官民共に、受注量が思うようには伸びない。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国、県の発注事業量は事務所によりばらつきはあるが、全体では、前年度並み又は前年度を上回っている。技術者単価も上がっているなど、供給側の環境は良くなっているが、競争が激しく、特に大手企業が相手では勝てない。地方企業の受注領域が質、量共に狭まってきている。
	輸送業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・大きくは変わらないが、先行きは不透明感があり、これらが不安である。
	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・8月は台風や前線の影響を受け天候不順が続いた事や、お盆を挟んだ9連休の影響もあり取扱物量が低迷した。10月の消費税増税に向けての駆け込み需要を期待していたが、四国への到着物量に増加が見られないなか、四国からの出荷を値上げ幅の小さい運賃の安価な業者に集中させる動きが以前にも増して顕著となってきており、全般的に取扱物量が減少する夏場の閑散期においては経営を圧迫する要因となっている。
	農林水産業（職員）	取引先の様子	・卸売市場の動向は、需給バランスによるところが大きいですが、今月も入荷量は比較的安定し、近年の中では低い販売単価で推移している。これは、産地で台風等の被害が少なかったことに加え、梅雨に低温、曇雨天が多く、梅雨明け後は高温が続いたことで、身体が気温の変化に対応できず体調を崩す人が多く、食欲の低下もあり青果物の消費は鈍い環境が続いたことが一因である。
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・台風、豪雨等、気象条件が悪化したことで、小売での販売量が減少した。
	化学工業（所長）	受注量や販売量の動き	・梅雨が長かった影響で夏商品の売行きが良くなかった。
	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・受注量は頭打ちで、人手不足により生産、出荷が遅れ気味である。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・最近消費税の問題もあり、個人で再生可能エネルギーの発電施設を作る受注は、ほぼゼロである。発電所の建設、太陽光発電設備の設置をする人はいない。大型の設備については、今までの努力で受注残があるので、何とか経営はやっていけている。
	輸送業（経理）	取引先の様子	・米中貿易摩擦や日韓外交悪化等の影響により、輸出入の物量が減少し、国内の輸送量も低迷している。
	金融業（副支店長）	取引先の様子	・取引先の決算書や試算表が若干悪化している。
	公認会計士	取引先の様子	・今月の各法人の決算書、試算表等を分析すると、若干、前年比で売上、利益共に下落している企業の数が増えている。
	x 木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・大手ハウスメーカーの受注が4月から大きくダウンしており、下期の受注もダウンすると見込んでいる。消費税の影響が出ている。
雇用 関連 (四国)	-	-	-
	人材派遣会社（営業）	雇用形態の様子	・消費税増税前の駆け込み需要によって、小売、流通の需要が高まりつつある。そのため人材確保が急務となり雇用形態も契約社員や派遣社員から正社員移行の雇用とする求人も増えている。
	民間職業紹介機関（所長）	それ以外	・最近、様々な層のキャリアコンサルタントを実施しているが、在所中の方の転職希望が多いことに驚いている。理由として多いのは待遇面であり、退職して初めて、在職していた会社の良さが分かるのであるが、どうしても隣の芝生と比較してしまうようである。我々としては、じっくりと耳を傾けるしかない。
	学校[大学]（就職担当）	求人数の動き	・4年制大学では、内定率が前年の同時期よりも良くなっているものの、短期大学では、内定率が下がっている。

	人材派遣会社 (営業担当)	採用者数の動き	・大型の業務処理センターが、増員を控えている。
	求人情報誌(営業)	採用者数の動き	・県内企業では求人数が増加しているが、採用数は横ばい若しくは減少しており、人手不足が更に深刻化している。
	新聞社[求人広告](担当者)	それ以外	・売上当たりの労働負荷が高い。
	職業安定所(求人開発)	それ以外	・7月の有効求人倍率は1.46倍で、3か月前と比べて0.03ポイント減少しており、前年同月比で減少となった。また、管内の企業整備の情報が小規模ではあるが幾つか出てきている。
x	人材派遣会社 (営業担当)	求職者数の動き	・職種が限定された求人があり、電子関係などの業種の募集が激変している。とはいえ求職者が増えていない。